

平成16年9月14日
原子力安全対策課
(1 6 - 6 4)
< 10時資料配付 >

敦賀発電所2号機の新燃料輸送について

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力116.0万kW）は、本日、新燃料集合体36体を受け入れた。

1．輸送年月日

平成16年9月14日 1時30分 原子燃料工業株式会社 発
（大阪府泉南郡熊取町）
平成16年9月14日 7時20分 敦賀発電所 着

2．輸送数量等

新燃料集合体 36体
輸送容器 18個

3．輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

4．輸送方法

陸上輸送

問い合わせ先（担当：山本）
内線2354・直通0776(20)0314

「輸送における安全性について」

1．輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

2．輸送容器の概要

型 式 ; N F I - 型

形 状 ; 円 筒 形

寸 法 ; 長さ約 5 m、外径約 1 m

重 量 ; 約 3 . 7 トン (輸送容器だけで約 2 . 4 トン)

材 質 ; ステンレス製

3．輸送物の安全確認

本輸送物 (A型核分裂性輸送物) については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、独立行政法人 原子力安全基盤機構により確認されたものである。

4．輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両の積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施している。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防・警察・自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置を取ることにしており、十分な安全対策が講じられることとなっている。

『 A 型核分裂性輸送物の安全基準 』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条の2に基づき国が定めている『 A 型核分裂性輸送物 』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

線量当量率

表面で、 2 ミリシーベルト / 時以下
表面から 1 m 離れた位置で、 0 . 1 ミリシーベルト / 時以下

表面密度限度

線を放出する放射性物質の場合、 0 . 4 ベクレル / cm² 以下
線を放出しない放射性物質の場合、 4 ベクレル / cm² 以下

また、 A 型核分裂性輸送物の試験条件には、

一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

特別の試験条件

9 m 落下試験、棒上の 1 m 落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することになっている。